

2017年10月23日

SUBARUテックツアー ボーイング787「中央翼」体感フライトを開催

- 日本航空(JAL)の最新鋭「ボーイング 787」型機を使用し、成田空港―旭川空港間を往復
- 「SUBARU Web コミュニティ(#スバコミ)」会員をご招待
- JALの自動車輸送サービス「J SOLUTIONS WHEEL」を使用して「SUBARU BRZ」を空輸

SUBARUは、お客様に「安心とゆしさ」を通じて笑顔を提供する自動車メーカーとして、世界各国で親しまれていますが、1917年創業の飛行機研究所をルーツとする航空機メーカーという、もう一つの顔を持っています。

今回、SUBARUが国際共同開発の一翼を担い、その「中央翼」*1と呼ばれる部分などの設計・製造に携っているボーイング787型機を使用した、『SUBARUテックツアー ボーイング787「中央翼」体感フライト』を2017年10月20日に開催しました。

本フライトには、SUBARUがWeb上でお客様とのつながりを深めることを目的に開設している「SUBARU Web コミュニティ(#スバコミ)」*2の会員の中から選ばれた方をご招待。JALとして初就航となる成田空港―旭川空港を往復して、SUBARU製「中央翼」が使用されているボーイング787型機の快適な飛行を体感しました。機内では、SUBARU航空宇宙カンパニーの技術者が「SUBARUの航空機作りの考え方」についてレクチャーを行い、また旭川空港では、JALオリジナルの自動車輸送サービス「J SOLUTIONS WHEEL」を使って空輸した「SUBARU BRZ」(1台)の積み下ろしのデモンストレーションも見学しました。

SUBARUは、今後もこのようなファンイベントを開催するなど、様々な形でお客様に「安心とゆしさ」を提供していきます。

- *1 「中央翼」は、左右の主翼と前後の胴体部分を繋ぐ、飛行機の構造上重要な部位。
SUBARUは、ボーイング 787 型機の「中央翼」を、2007年の初出荷以来、ボーイング 787-8型 -9型 -10型合計で、既に650機以上生産しています。(2017年9月現在)
- *2 SUBARU Web コミュニティ(#スバコミ) <https://members.subaru.jp/>



ボーイング 787 型機(イメージ画像※3)



ボーイング 787 型機に積み込まれる「SUBARU BRZ」

- *3 このSUBARU特別塗装機は、実際には就航していないイメージ画像(CG合成)です。